

---

# 魔道言語学概論

Danube

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔道言語学概論

### 【Nコード】

N2017W

### 【作者名】

D a n u b e

### 【あらすじ】

世界で2人しか確認されていない日本語を魔道言語として用いることのできる魔道士 嵯嶋翔 は英国で魔道を学んでいる学生だ。冬休み、日本に帰国していた翔のもとに担当教員の マクダニエル が訪れる。休暇中の彼に向かって マクダニエル は10年前にアイルランド民族主義活動において爆弾事件を起こした国際犯罪者 ショーン・アイルランド が日本に潜伏しており、それを逮捕、拘留する指示を翔が受けたと告げる。同じく指示を受けたもう一人の日本語魔道士 政陸祐子 とともに ショーン・アイルランド の

潜伏先を強襲するが……

さて、小説を書くという作業はほとんどしたことがなく、初心者ですので、温かく見守っていただけると嬉しいです。

毎月第2・第4土曜日に更新いたしますので、よろしければご覧ください。

興味をお持ちいただきましてありがとうございます。

## 序章 メルテルト国際言語会議（前書き）

序章を書きあげました。

毎月第二土曜日と第四土曜日に一万文字程度でアップする予定です。

## 序章 メルテルト国際言語会議

今から三十年ほど前、ソビエト連邦がまだ猛威を奮い、人類が月面に着陸したことを喜び、ベルリンの壁がドイツをその社会体制とともに二分していたところに、ルクセンブルグの東、ドイツとの国境の町メルテルトにおいて、史上初の言語に関する国際会議が開かれた。とはいえ、通常の会議ではない。この会議において通常ではない点はいくつかある。その顕著なものは、やはり、参加者であろう。参加者は世界各国から集められたその国を代表する魔道士達。国際連盟の一部門である魔道部門による主催で行われたその会議は何かを決定するというよりも「集まったことに意義がある」とでも言いただけなほどに最終日を迎えても何も決定していなかった。世界の流れが日本の脱退やその後の第二次大戦を終えて、国際連盟から国際連合に移行している中、魔道士の世界だけ国際連盟が機能していた理由の一つには、魔道士が一人として、第二次大戦に参加していないという事情による。

さて、この歴史的な会議において、最も重要となったのが、変身魔道を得意とするチエコの名門マサリク家の家長カレル・マサリクとアイルランド古代魔道士ステファン・アイルランドが連名で署名した『少数魔道言語の保護と無魔道言語の創生に関する宣言』である。

『少数魔道言語の保護と無魔道言語の創生に関する宣言』

全て言語というものはその魔道の根源にして宗教と並びその個人の魔道を決定づける重要な固有の資質の一つであり、生得のものである。さて、翻って見るに、古代より世界においては国家間における戦争によって負けた地域の言語が蹂躪され淘汰されたり、気候の変動によりその地域における魔道士の人口が減ったりといった事項

により、いくつかの貴重な魔道言語が絶滅してきた。その代表例が多くの魔道に関する文献を残し、かつては第一級の魔道言語であったラテン語である。

さて、魔道言語がその類型的違いにより大きく異なる魔道を生み出し、同一の類型に属する言語であってもそれぞれの言語の違いによって異なる魔道を生み出すことは衆知であり、言語はそれぞれに魔道を持つ。

よって、ここに提唱する。すなわち、世界的な取り組みとして少数言語を保護すべきである、と。特にヨーロッパの地においては古来より、歴史的に魔道士を多く持っていた言語が他の言語を持つ魔道士によって侵略された。イングランドによるアイルランド植民、ロシアにおけるポーランド征服、両手で足りないほど多くの実例を持つ。そういった言語の保護を行うことは、まさしく魔道の特性である「多様性の保証」にとって必要かつ重要である。例えば、アイルランド語はアーサー王の時代から隆盛と衰退を繰り返し、19世紀のジャガイモ飢饉によって壊滅的な被害を受けた結果、現在、この言語の魔道を継承する家は2家を残すのみとなっている。伝説と神話の時代から魔道を伝えてこの言語を用いることができる魔道士が失われることは大きな損失となることは疑いない。

また、これまで魔道士の存在が確認されていない言語についても魔道士を創生させていたことも今後の魔道にとって有益であろう。現在魔道言語として確認されている言語に関する研究はスイスの言語学者フェルディナン・ド・ソシュール以降一定の成果を挙げた。その研究の結果、魔道言語の決定要因が両親の母語であるという「言語遺伝説」が確認されている。すなわち、この方法を用いれば、未開の魔道言語を開拓し、また、それに伴う新規魔道の発見が行われ、魔道のフィールドが更なる学術的発展を見せることは容易に想像できる。

ここに我らは「少数言語の保護と新規言語の開拓」を宣言するものである。

さて、この宣言を採択し、国家レベルの政策として多少なりとも推進した国家は少数言語を第一公用語として持つアイルランドなどの例外的な国家にとどまった。これは、多くの国家が二つの異なる言語をお用いる民族同士の対立があったり、という理由で一つの言語に偏重して政策をとることができないなどの言語的問題による。実際の効果を伴わなかったこの宣言が著名となったのは後世に、具体的には、この宣言の二十年後にオマー爆弾事件と呼ばれる悲劇的事件の一つの要因として注目されたためである。アイルランド政府及び英国政府などによって過激派少数言語保護組織が後盾となつて起こしたこの事件は当時のアイルランドを震撼させ、また、犠牲者の一人がスペイン人学生だったことから、スペイン政府の憤激を伴い、一過性の騒乱を生み出したものの、日々巻き起こるその他の事件によって、歴史の中に風化されていった。

## 序章 メルテルト国際言語会議（後書き）

いきなり、内容が学術的で戸惑った方も多いと思います。

次の第一章から読めばそのうち理解できると思いますので、気にせずに、読み進めていってください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2017w/>

---

魔道言語学概論

2011年10月9日15時01分発行